

施工ワーキングで取り組む課題

《環境》

New!

人が自然から受ける様々な恩恵について次世代の子供たちに伝える方法を考えていきます。

定期的な観察や調査を続けていきます。

緑地の連続性を保つ工夫を続けていきます。

施工ワーキング
で取り組む課題

ヒメボタルに十分配慮します。
ライフサイクルの解明や保護の方法について

《交通》

アクセス機能を向上させる方法を考えます。

New!

道路(歩道)と森のつながりをどうする？

シミュレーション予測をして相生山の環境を評価します。

騒音など

New!

照明の配置を検討します。

照明による負荷を小さくするには？



安全性を確保するには？



行政・地域に託す課題

専門的な生物調査をすること

初春(3月)調査は実施中！

New!

相生山緑地全体の将来計画を策定すること

行政・地域
に託す課題

ヒメボタルのことを知ってもらうためにもヒメボタルの観賞に対するマナー指導をすること

New!

シミュレーションによる簡易予測で、新たな渋滞発生予測等を行うこと

New!

開通後の交通問題に対応していくこと

開通後も調査と対応の検討を！

課題の中で、学術検証委員会の提言を受けて今後新たに
取り組む課題は、**New!** マークで示しています。

課題を検討して...

- これまでの施工ワーキングの活動を見直し、客観的に評価することができました。
- 施工ワーキングの活動の中で対応できることと、他の組織で検討する必要があることが明確になりました。

問い合わせ先

名古屋市 緑政土木局 道路建設部 道路建設課内「環境に配慮した道づくり」施工ワーキング事務局
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電話:052-972-2873 FAX:052-972-4168
<http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-3-7-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

「環境に配慮した道づくり」施工ワーキングだより 第58号

施工ワーキングの**ススメ**

学術検証委員会の報告書に書かれている課題を議論しました。

今年度は、平成22年12月に相生山緑地の道路建設に係る学術検証委員会から提出された報告書をもとに、検討に際し不足している調査や検討事項を抽出し、1年かけて話し合ってきました。検討結果を整理し、来年度以降の活動に活かしていきます。

H21年9月26日
ちょっといい対話

H22年2月～10月
学術検証委員会
(計6回)

H22年12月9日
報告書提出



この1年間のワーキング活動での話し合い

H23年4月

学術検証委員会報告書を読み込んで、内容を把握しました。

H23年5月

学術的に検証するために必要な調査や検討事項をピックアップ。

H23年7月

全体で話し合う課題、グループで担当する課題を割り当てました。

H23年10月
～H24年1月

グループで分担した課題を3～4項目ずつ話し合いました。

H24年3月

全ての課題に対し、施工ワーキングとしての考え方をまとめました。

検討結果



施工ワーキング全体で検討



グループごとで検討

